



防ごう 子どもの ベランダや窓からの転落事故

事例

自宅マンションの1階にあるポストを見に行った約1分
の間に、子どもが3階の
ベランダから転落した。
当日は、ベランダへ出る
窓は閉めていたが鍵は
かけておらず、ベランダの
柵の下には台や植木鉢を
置いていた。救急要請し、
肝臓損傷の疑いで7日間の
入院となった。

(当事者：3歳)



ひとことアドバイス

- ベランダや窓のある部屋には、短時間であっても小さな子どもだけにしないようにしましょう。
- 子どもは、何でも踏み台にして登れそうなどころには登ってしまいます。ベランダの手すりや窓の近くには、子どもの足掛かりになるようなものは置かないことが大切です。特に、エアコンの室外機の置き場所は工夫しましょう。
- 勝手に窓を開けないよう、窓や網戸には子どもの手の届かない位置に補助錠を付けましょう。
- 窓枠や出窓に座って遊んだり、窓や網戸に寄り掛かったりさせないようにしましょう。
- 日ごろからベランダや窓からの転落の危険性について子どもに教えることも大切です。

さぼーとくん



発行：独立行政法人国民生活センター

本文イラスト：黒崎 玄

長崎市消費者センター (長崎市築町3番18号メルカつきまち4階)

相談専用電話 **829-1234** または 消費者ホットライン **188**

時間 **10時~17時** (土日祝も可 月曜定休)